

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-38 感染症対策事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	市民健康課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	市民
意図	感染症に対する啓発と発生初期の対応を行うため。
効果	感染症の発生、まん延を予防し、発生初期に拡大を防ぐ。

2 平成27年度に実施した事業の概要

感染症等が発生しなかったため、県知事の指示による汚染された場所の消毒等は行わなかった。 感染症に対する正しい知識の普及を図り、市民の感染症への正しい理解を深めるため、冊子等により啓発に努めた。 新たな感染症(強毒型インフルエンザ等)が発生した場合に、市民へのまん延を防止し医療機関の混乱を避けるために開設する発熱外来の施設維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,464人 世 帯 数 80,368世帯 事業の対象者数	177,243人 80,676世帯	人 口 176,869人 世 帯 数 80,928世帯 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	1,363	当初予算(千円)	916	
	国県支出金	0	国県支出金	0	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	0	その他	0	
	一般財源	1,363	一般財源	916	
	人員配置数	1.3	人員配置数	1.5	
事業経費運営	人件費(千円)	9,844	人件費(千円)	11,819	
	総事業費(千円)	11,207	総事業費(千円)	12,735	
	市民1人当りの経費(円)	63	市民1人当りの経費(円)	72	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	3. 国・県・民間等でも同様の事業やサービス等を行っており、市で実施する必要性は低い
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	△-負担未導入	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
	⇒	⇒ 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 国・県の動向を見つつ、今後の継続について検討していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	国・県の新型インフルエンザ対策・行動計画・ガイドライン等の改定をうけ、本市の取扱いを検討していく。 また、強毒型インフルエンザ等の新たな感染症が発生した場合に備えて設置した発熱外来の施設維持管理をおこなっており、その必要性等については、国・県の動向を見ながら見極めていく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	野村総研跡地を利用している発熱外来の維持管理を継続しながら、必要性を見極める必要がある。		
課題解決のために行った平成27年度の実績	新型インフルエンザ等対策の総合的な推進に関する事項、市が実施する措置、他の地方公共団体やその他の関係機関との連携に関する事項等を定めた、鎌倉市新型インフルエンザ等対策行動計画を策定した。 発熱外来の維持管理を行った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	新型インフルエンザ等発生時の対応について、情報伝達経路の構築と連絡手段の整理をしていく必要がある。 発熱外来の維持管理を継続しながら、引き続き、必要性を見極める必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---